

卒業生との絆ニュースNo.140 被災地支援へのお礼

日頃から、本学に対するご支援誠にありがとうございます。
さて、絆ニュースNo.117で被災地への支援についてお願いいたしましたが、
その依頼者で、小学校の校長を務めていらっしゃる八島 敬氏（教育学部昭和50年度卒）
から下記のメールが届きましたので、皆様にお知らせします。

卒業生の皆様へ

全国の千葉大学卒業生の皆様にはこの度、多額の義援金をいただき
本当にありがとうございました。たくさんの遊具が設置でき、子供達も
毎日喜んで遊んでいます。義援金を戴いたまま連絡が取れない方も
多数いましたので、遊具設置までの状況をお知らせいたします。

義援金 40件 4,196,685円
寄贈遊具 プランコ2基、ジャングルジム、すべり台2基、雲梯、低鉄棒
購入遊具等 バスケットゴール（1組）、高鉄棒、屋外時計

義援金は皆様のポケットマネーから送金して下さったり、団体として50万円、
100万円を送金して下さったりして上記の金額になりました。
遊具の寄贈にあたっては、園芸学部卒業の会社役員（園芸学部客員教授）が
遊具メーカー社長に相談して下さり実現しました。

今年4月上旬に遊具が校庭に搬入され、地元の業者に工事を発注しました。
4月から5月にかけて工事が進められ、5月の中旬から使用できるようになりました。
義援金で工事費用をまかない、残金で上記の遊具等を購入しました。

子供達は昼休み、先を争って校庭に走っていきます。喜んで遊んでいる
様子を撮影しましたので、添付いたします。

この遊具の寄贈がきっかけになり、千葉大学が富岡町立小中学校三春校を
全面的に支援して下さることになりました。
柏の葉キャンパスの環境健康フィールド科学センターからは植物工場を、
学生支援課からは留学生を含む学生ボランティアを、医学研究院子どもの
こころの発達研究センターからは「フレンズ」というプログラムを通して
心のケアを、薬学研究院からは放射線教育の講師派遣をと様々な支援を受けています。

避難生活の中で最先端の研究の支援を受け、子供達も多くの影響を受けています。
将来千葉大学で学ぶ児童が出ることを期待しているところです。

まだまだ地元富岡には戻れそうもありませんが、子供達は互いに支え合いながら
元気に通学しています。

最後になりましたが、千葉大学の卒業生の皆様並びに千葉大学に富岡町の
教職員一同心から感謝申し上げます。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

富岡第一小学校長 八島 敬
富岡第二小学校長 根本 修行

963-7704 福島県田村郡三春町大字熊耳字南原94
富岡第一小学校
電話 0247-62-7790
FAX 0247-62-7802
メール school@tomioka1-e.fks.ed.jp

写真は以下よりご覧ください。
http://www.chiba-u.jp/general/project/graduate/kizuna_news/pdf/20120621kizunanews_140-1.pdf